

## 「私が一番きれいだったとき」 テスト対策練習問題と過去問まとめ

年	組	番	名前
---	---	---	----

- 問1 「私が一番きれいだったとき」の作者を漢字（もとからひらがなの部分はひらがなで）で答えなさい。
- 問2 「私が一番きれいだったとき」の詩の形式を漢字で答えなさい。
- 問3 「私が一番きれいだったとき」は全部で何連あるか、漢数字で答えなさい。
- 問4 「私が一番きれいだったとき」の詩はいつのことが書かれているのか、次の中から選び、○で囲みなさい。
- ア：日本が戦争を始める前  
イ：日本が戦争をしていた時  
ウ：現代
- 問5 第1連「街々はがらがら崩れて行って」とあるが、その理由を簡単に説明しなさい。



問6 第2連の「わたしはおしゃれのきっかけを落としてしまった」理由として正しくないものを次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：おしゃれを楽しむ状況ではなかったから
- イ：わたしがおしゃれに興味なかったから
- ウ：男たちは皆発ってしまったから
- エ：おしゃれすることが許されていなかったから

問7 第3連では、男たちが「皆発っていった」とあるが、男たちはどこに発っていったのか。詩の中から抜き出して2文字で答えなさい。

問8 第4連「わたしの頭はからっぽで」「わたしの心はかたくなで」で使われている表現技法を答えなさい。

問9 「かたくな」の意味として正しいものを次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：臆病
- イ：幼い
- ウ：虚無
- エ：頑固

問10 第4連「手足ばかりが栗色に光った」とは、どういうことを意味するのか。次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：「わたし」が手足を怪我したこと
- イ：「わたし」が大人になったこと
- ウ：労働により手足が日焼けしていたこと
- エ：手足ばかりが女性らしくあったこと



問11 第5連の「ブラウスの腕をまくり」「卑屈な町をのし歩いた」ときの「わたし」の気持ちとして正しくないものを次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：戦争に負けてしまったと信じたくない
- イ：戦争が終わってすがすがしい
- ウ：戦争の犠牲になったことに納得がいかない
- エ：信じていたものに裏切られた

問12 第5連の「卑屈な町をのし歩いた」で使われている表現技法を答えなさい。

問13 第6連の「禁煙を破ったときのようにくらくらしながら」で使われている表現技法を次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：比喻法（直喩）
- イ：体言止め
- ウ：比喻法（隠喩）
- エ：倒置法

問14 「わたしが一番きれいだったとき」を戦争中と戦争後で分ける場合、戦争中は第何連までか。漢数字で答えなさい。

問15 第1連から第7連まで、「わたしが一番きれいだったとき」という一文がくりかえし出てくるが、このような表現技法を何というか漢字3文字で答えなさい。



問16 第8連「だから決めた できれば長生きすることに」で使われている表現技法を漢字3文字で答えなさい。

問17 第8連には、作者のどのような思いが込められているか。正しくないものを次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：後世には、自分のような体験をしてほしくない
- イ：失われた青春を取り戻したい
- ウ：長生きして敵国を見返したい
- エ：読み手に自分の決意を印象づけたい



## 私が一番きれいだったとき」 テスト対策練習問題と過去問まとめ（解答）

問1 茨木のり子

問2 口語自由詩

問3 ハ（連）

問4 イ

問5 空襲によって崩れた

【解説】戦争の中、敵国からの爆弾や空襲などの攻撃によって、建物が崩されたことを簡単に説明しよう。

問6 イ

【解説】「正しくない」ものを選ぶ問題のため、注意する。戦争中は、物も不足し、身を守ることに精一杯のため、おしゃれを楽しむ状況ではない。また、おしゃれの動機づけとなる異性も出征してしまい、戦争中におしゃれをすることはぜいたくで不謹慎であるという風潮もあった。

問7 戦争

問8 対句法

問9 エ



問10 ウ

【解説】「栗色」とは、茶色のこと。戦争中は女性も労働力として扱われた足が日焼けしていたことを意味している。

問11 イ

【解説】戦争中は、国民は「日本は戦争に必ず勝つ」と信じさせられ犠牲を強いられた。しかし結果は敗戦となり、これまで犠牲になった人々や自分が報われないこと、勝つと信じてきたのに裏切られた悔しさ、負けたことを認めたくない気持ちが表現されているため、「正しくない」のはイとなる。

問12 擬人法

問13 ア

問14 四(連)

問15 反復法

問16 倒置法

問17 ウ

※当テストでは、著作権侵害を避けるために本文の掲載を控えています。

